

製品名: BAX マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82466**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	21.2kDa

抗原情報

遺伝子名	BAX
別名	BCL2L4
遺伝子 ID	581.0
SwissProt ID	Q07812
免疫原	大腸菌で発現したヒト BAX の精製された組み換え断片。

背景

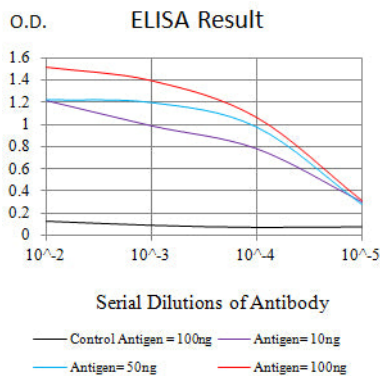
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BCL2 タンパク質ファミリーに属します。BCL2 ファミリーのメンバーはヘテロまたはホモ二量体を形成し、抗アポトーシスまたは促進アポトーシス制御因子として働き、様々な細胞活動に関与します。このタンパク

質は BCL2 とヘテロ二量体を形成し、アポトーシス活性化因子として機能します。BAX と BCL2 の結合と比率は、アポトーシス刺激後の細胞の生存または死も決定します。このタンパク質は、ミトコンドリア電位依存性アニオンチャネル (VDAC) と相互作用してその開口を増加させ、膜電位の低下とシトクロム c の放出につながる事が報告されています。この遺伝子の発現は腫瘍抑制因子 P53 によって制御されており、P53 を介したアポトーシスに關与することが示されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

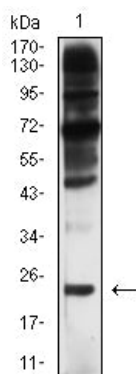
研究分野

アポトーシス、TGF-β シグナル伝達経路

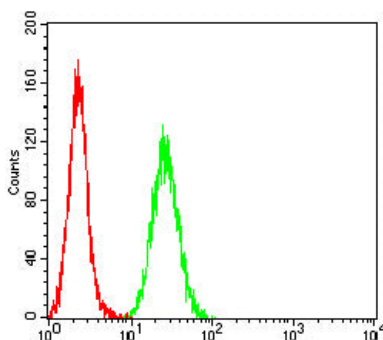
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



HT1080 (1) 細胞溶解物に対する BAX マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



BAX マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。